

日本語諸方言における 最小語制約の類型化に向けて

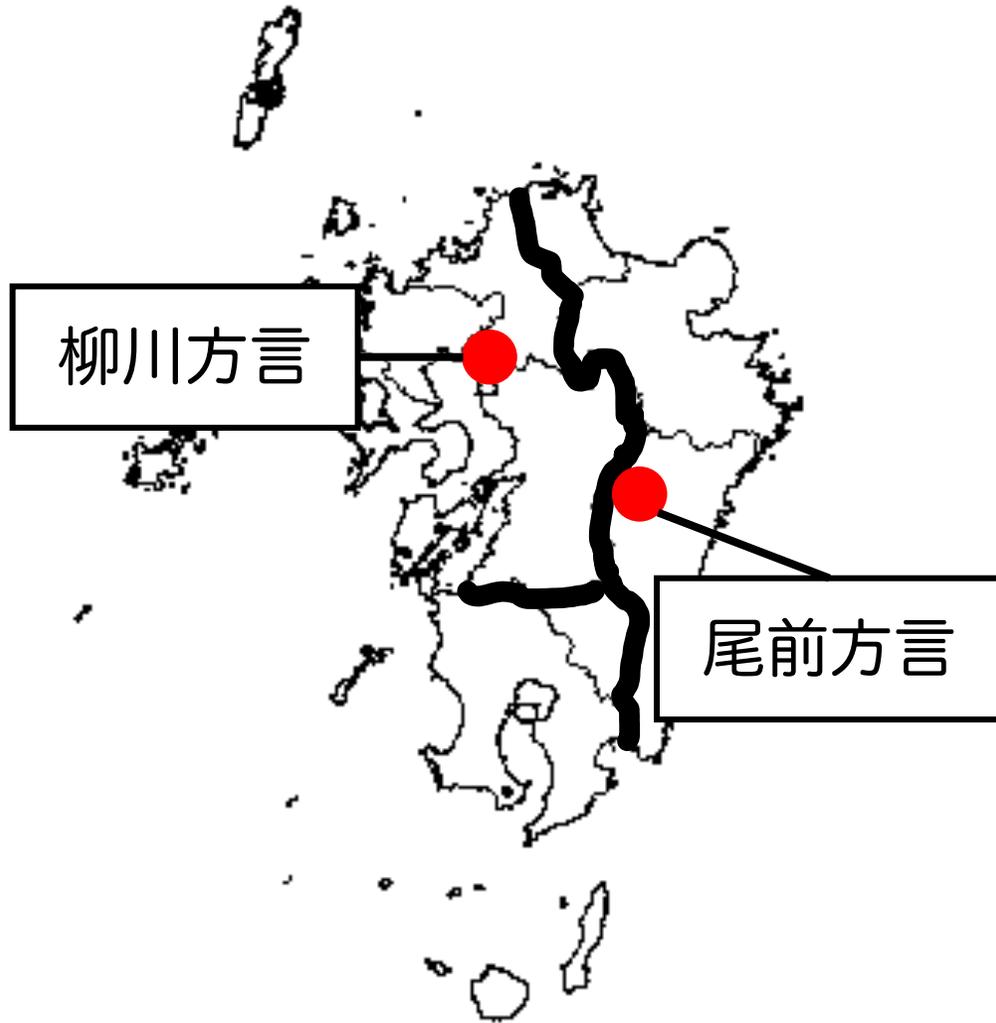
九州方言を中心とした初期報告

2022年12月4日

「危機言語の保存と日琉諸語のプロソディー」合同研究発表会

松岡葵（九州大学大学院／JSPS）

対象とする方言：柳川方言と尾前方言



柳川方言では、 1モーラ名詞の母音延長が生じる

- (1) **{*me/mee}** utta. (2) **{*me/mee}**=yatta. (3) {me/*mee}=ni
目 打った 目=だった 目=に
「目（を）打った」 「目だった」 「目に（よい）」

柳川方言では、 母音延長が生じないこともある

- (1) $\{*me/mee\}$ utta. (2) $\{*me/mee\}=yatta.$ (3) $\{me/*mee\}=ni$
目 打った 目=だった 目=に
「目（を）打った」 「目だった」 「目によい」

尾前方言でも、 1モーラ名詞の母音延長が生じる

- (5) **{*me/mee}** utta. (6) **{me/mee}**=zyatta. (7) {me/*mee}=ni
目 打った 目=だった 目=に
「目（を）打った」 「目だった」 「目によい」

尾前方言でも、 母音延長が生じないこともある

- (5) {*me/mee} utta. (6) {me/mee}=zyatta. (7) {**me/*mee**}=ni
目 打った 目=だった 目=に
「目（を）打った」 「目だった」 「目によい」

本発表の目的

- 柳川方言，尾前方言における1モーラ名詞の母音延長の記述
 - ・ 後続する接語の種類（格助詞，取り立て助詞，コピュラ，終助詞）
 - ・ 後続する接語のモーラ数（1モーラ，2モーラ以上）
- 他方言における先行研究も踏まえ，1モーラ名詞の母音延長に通方言的な階層性がある可能性を指摘

2. 両方言における 1モーラ名詞の記述

柳川方言と尾前方言の調査概要

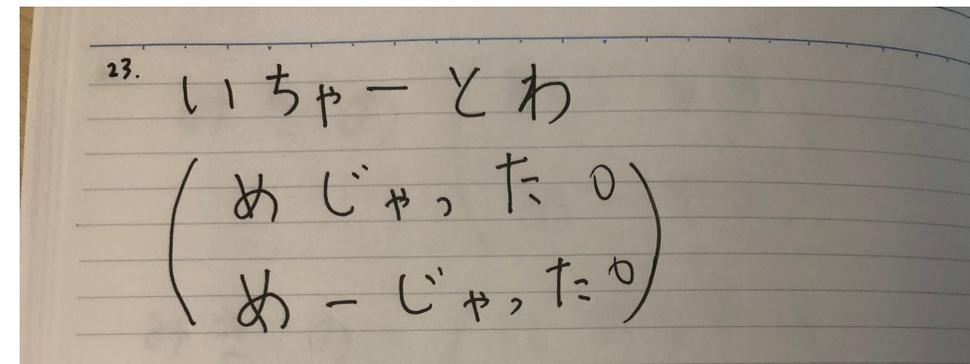
話者：1名ずつ（柳川方言は70代女性，尾前方言は80代女性）

調査手法：調査票調査

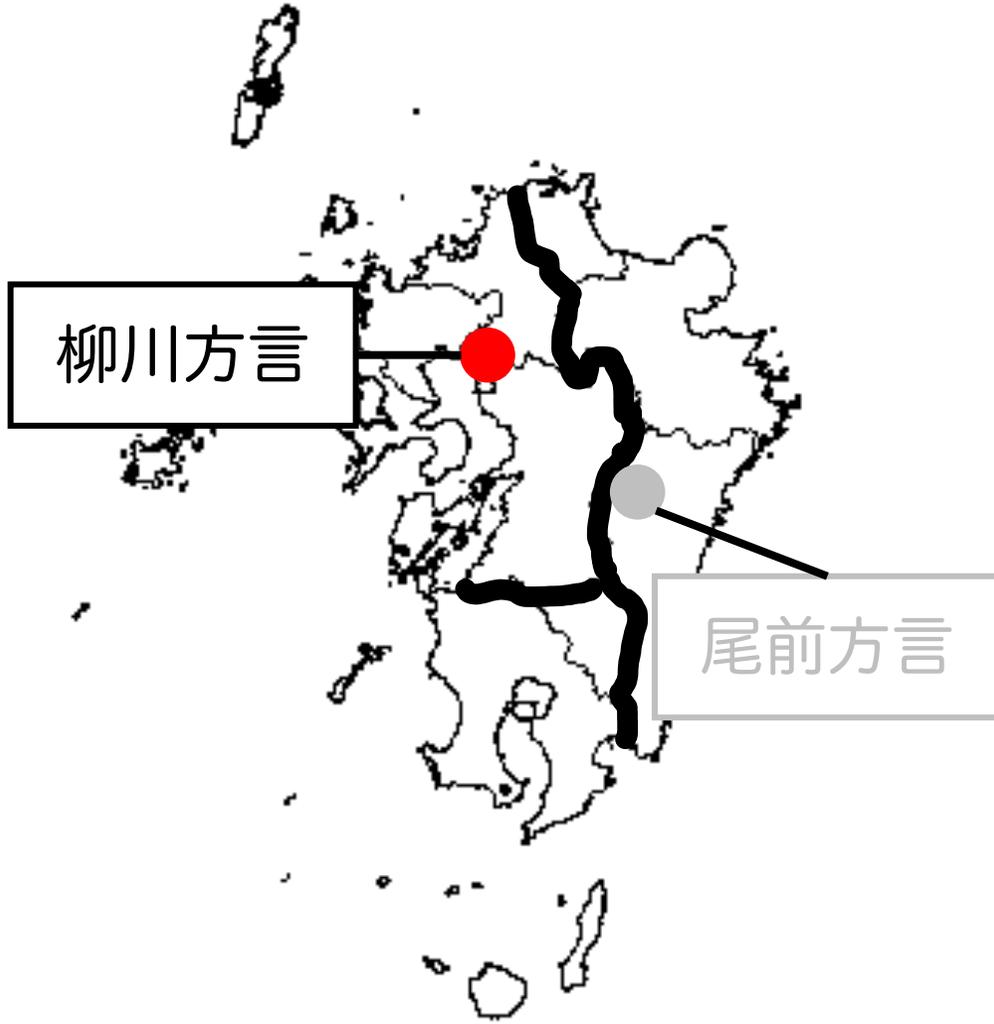
1モーラ名詞：me「目」

修飾要素：なし

母音延長の有無：話者の内省による判断



柳川方言



柳川方言

- ・肥筑方言
- ・無アクセント（平山1951, 岡野1983）
- ・1モーラ名詞の母音延長には後続する接語の種類が影響（松岡2021: 10）

尾前方言

- ・豊日方言
- ・無アクセント（古田・小川2016）
- ・1モーラ名詞の母音延長は単独で発話される場合に生じる（下地2016: 11）

後続する接語の種類とモーラ数

格助詞

- ・ 1 μ : =no (主格), =ni (与格), =de (具格)
- ・ 2 μ : =kara (奪格)

取り立て助詞

- ・ 1 μ : =mo (累加)
- ・ 2 μ : =den (例示), =don (例示)

コピュラ

- ・ 1 μ : 該当形なし
- ・ 3 μ : =yatta 「だった」

終助詞

- ・ 1 μ : =yo
- ・ 2 μ : =bai

要因 1. 後続する接語の種類の影響

- (1) $\{*me/mee\}$ utta (2) $\{*me/mee\}=yatta$ (3) $\{me/*mee\}=ni$
 目 目 目=だった 目=に
 「目（を）打った」 「目だった」 「目に（よい）」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1 μ	○	×	○	×
	2 μ	×	○	○	×
取り立て	1 μ	○	×	○	×
	2 μ	×	○	○	○
コピュラ	1 μ	/	/	○	○
	3 μ	×	○	○	○
終助詞	1 μ	×	○	○	○
	2 μ	×	○	○	○

1 μ の格助詞・取り立て助詞が
 後続するとき、
 母音延長は生じない

要因 1. 後続する接語の種類の影響

- (1) $\{*me/mee\}$ utta. (2) $\{*me/mee\}=yatta.$ (3) $\{me/*mee\}=ni$
 目 打った 目=だった 目=に
 「目(を)打った」 「目だった」 「目に(よい)」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1 μ	○	×	○	×
	2 μ	×	○	○	×
取り立て	1 μ	○	×	○	×
	2 μ	×	○	○	○
コピュラ	1 μ	/	/	○	○
	3 μ	×	○	○	○
終助詞	1 μ	×	○	○	○
	2 μ	×	○	○	○

コピュラ, 終助詞が
 後続するとき,
 母音延長が生じる

要因 2. 後続する接語のモーラ数の影響

(4) {**me**/***mee**}=ni yoka. (5) {*me/mee}=kara

目=に

よい

目=から

「目によい」

「目から（涙が出る）」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○

要因 2. 後続する接語のモーラ数の影響

(4) {me/*mee}=ni yoka. (5) {*me/mee}=kara

目=に

よい

目=から

「目によい」

「目から（涙が出る）」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○

2μの格助詞・取り立て助詞が
後続するとき、
母音延長が生じる



1μ格助詞（母音延長しない）

（=ni, =deが後続する場合も同様）

(9) {me/*mee}=no itaka.

目=が

痛い

「目が痛い。」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○



2μ格助詞（母音延長する）

(10) {*me/mee}=kara namida=ga

目=から

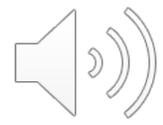
涙=が

deru.

出る

「目から涙が出る。」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○



1μ取り立て助詞（母音延長しない）

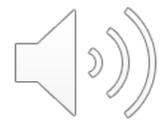
(11) {**me**/***mee**} = mo yoka.

目 = も

よい

「目もよい。」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○



2μ取り立て助詞（母音延長する）

(=donも同様)

(12) {***me/mee**}=den nan=den

目=でも

何=でも

「目でも何でも（検査してもらった方がいい）」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○



3μコンピュータ (母音延長する)

(13) itaka=tu=wa {*me/mee}=yatta.

痛い=の=は

目=だった

「痛いのは目だった。」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コンピュータ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○



1μ終助詞（母音延長する）

(14) itaka=tu=wa

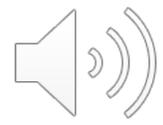
痛い=の=は

{*me/mee}=yo.

目=よ

「痛いのは目よ。」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○



2μ終助詞（母音延長する）

(15) itaka=ca

痛い=のは

{*me/mee}=bai.

目=よ

「痛いのは目よ。」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○

尾前方言



柳川方言

- ・肥筑方言
- ・無アクセント（平山1951, 岡野1983）
- ・1モーラ名詞の母音延長には後続する接語の種類が影響？（松岡2021: 10）

尾前方言

- ・豊日方言
- ・無アクセント（古田・小川2016）
- ・1モーラ名詞の母音延長は単独で発話される場合に生じる（下地2016: 11）

後続する接語の種類とモーラ数

格助詞

- ・ 1 μ : =ga/=no (主格), =ni (与格), =de (具格)
- ・ 2 μ : =kara (奪格)

取り立て助詞

- ・ 1 μ : =wa (主題), =mo (累加)
- ・ 2 μ : =demo (例示), =domo (例示), =yara (並列)

コピュラ

- ・ 1 μ : =zya 「だ」
- ・ 3 μ : =zyatta 「だった」

終助詞

- ・ 1 μ : =yo, =ze
- ・ 2 μ : =bai, =wai

要因 1. 後続する接語の種類の影響

- (5) $\{*me/mee\}$ utta. (6) $\{me/mee\}=zyatta.$ (7) $\{me/*mee\}=ni$
 目 打った 目=だった 目=に
 「目（を）打った」 「目だった」 「目によい」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○

格助詞・1μの取り立て助詞が
 後続するとき、
 母音延長は生じない

要因 1. 後続する接語の種類の影響

- (5) $\{*me/mee\}$ utta. (6) $\{me/mee\}=zyatta.$ (7) $\{me/*mee\}=ni$
 目 打った 目=だった 目=に
 「目(を)打った」 「目だった」 「目によい」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○

コピュラ, 終助詞が
 後続するとき,
 母音延長が生じうる

要因 2. 後続する接語のモーラ数の影響

(7) {**me**/***mee**}=mo yee.

目=も

よい

「目もよい」

(8) {me/mee}=domo

目=など

「目など打ったら（大変だ）」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○

要因 2. 後続する接語のモーラ数の影響

(7) {me/*mee}=mo yee.

目=も

「目もよい」

よい

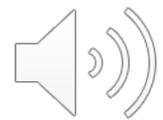
(8) {**me/mee**}=domo

目=など

「目など打ったら（大変だ）」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○

2μ取り立て助詞が
後続するとき、
母音延長が生じる



1μ格助詞（母音延長なし）

（=ga, =ni, =deが後続する場合も同様）

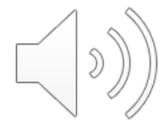
(16) {**me**/***mee**}=no ityaa.

目=が

痛い

「目が痛い。」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○



2μ格助詞（母音延長なし）

(17) {**me**/***mee**}=kara namida=no deru.

目=から

涙=が

出る

「目から涙が出る。」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○



1μ取り立て助詞（母音延長なし）

(=moが後続する時も同様)

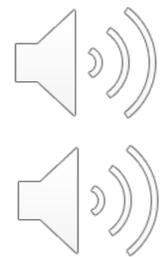
(18) {**me**/***mee**}=wa yee.

目=は

よい

「目はよい。」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○



2μ取り立て助詞（母音延長を許容）

(=domo, =yaraも同様)

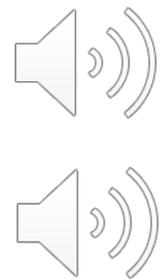
(19) {**me/mee**}=demo nan=demo

目=でも

何=でも

「目でも何でも（検査してもらった方がいい）」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○



1μコンピュータ (母音延長を許容)

(20) ityaa=to=wa

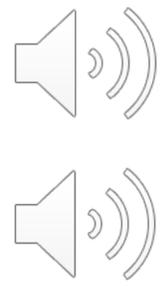
痛い=の=は

{me/mee}=zya.

目=だ

「痛いのは目だ。」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コンピュータ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○



3μコンピュータ (母音延長を許容)

(21) ityaa=to=wa

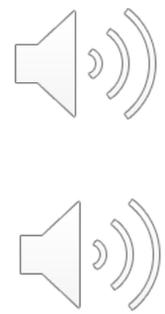
痛い=の=は

{me/mee}=zyatta.

目=だった

「痛いのは目だった。」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コンピュータ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○



1μ終助詞（母音延長を許容）

(=yoが後続するときも同様)

(22) ityaa=to=wa

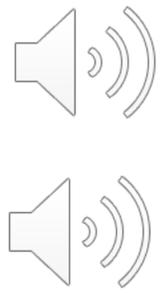
痛い=の=は

{me/mee}=ze.

目=よ

「痛いのは目よ。」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○



2μ終助詞（母音延長を許容）

(=baiが後続するときも同様)

(23) ityaa=to=wa

痛い=の=は

{me/mee}=wai.

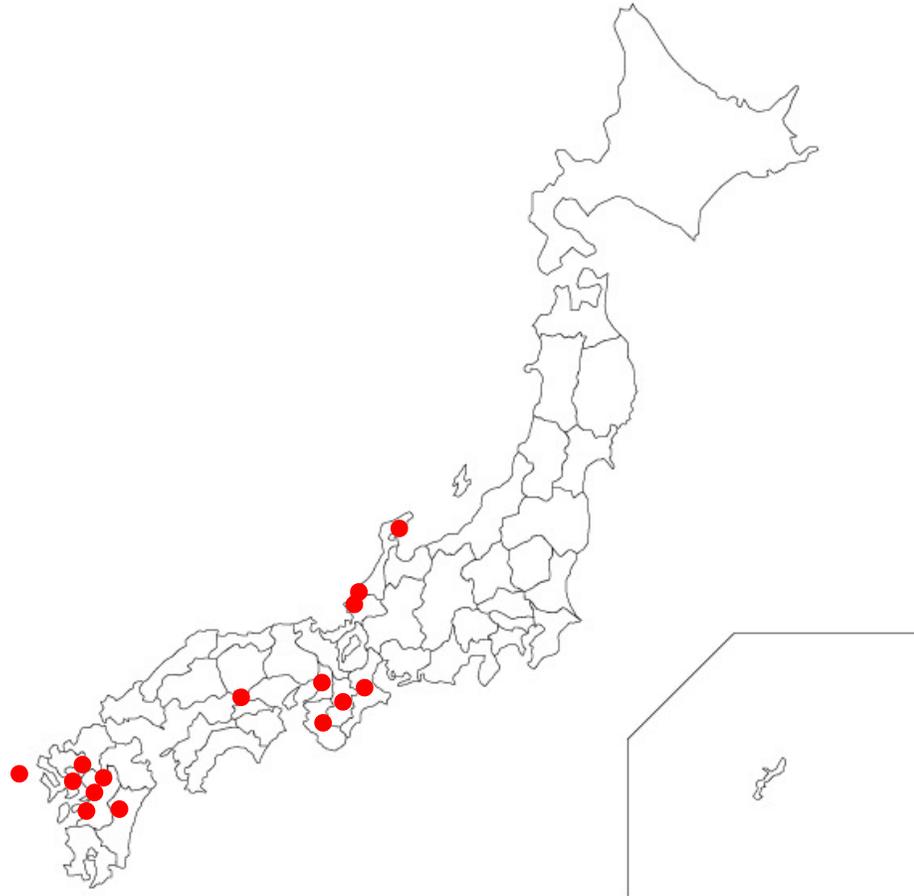
目=よ

「痛いのは目よ。」

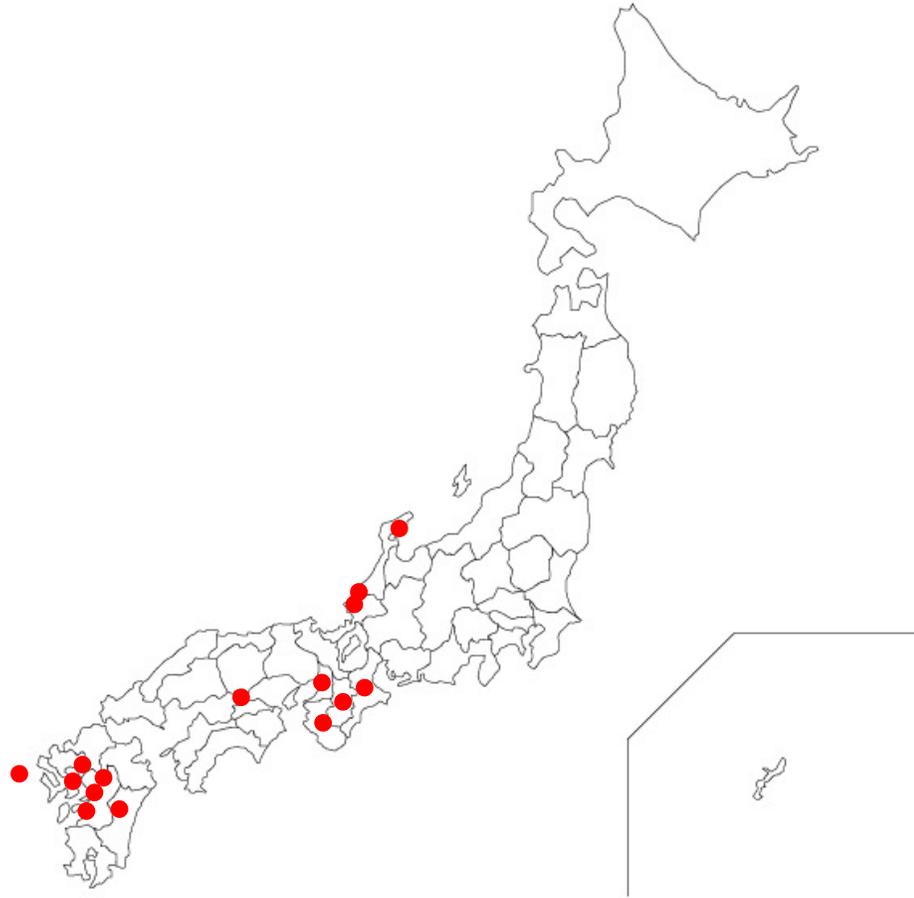
		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○

3. 通方言的な類型化に向けて

1モーラ名詞の母音延長が 記述されている方言 [\(詳細\)](#)



母音延長が生じる環境を 階層の形で一般化できる可能性



後続する接語の種類

コピュラ・終助詞 > 格・取り立て

後続する接語のモーラ数

2モーラ以上 > 1モーラ

後続する接語の種類

後続する接語の種類と母音延長

		格助詞・取り立て助詞が後続するとき	
		母音延長が生じる	母音延長が生じない
コピュラ・終助詞が後続するとき	母音延長が生じる	野方方言, 加津佐方言 etc.	柳川方言 (1μ接語に限定), 尾前方言 (1μ接語に限定)
	母音延長が生じない		標準語

赤丸は後続する接語の種類に言及がない方言 →影響していないと仮定



		格助詞・取り立て助詞が後続するとき	
		母音延長が生じる	母音延長が生じない
コピュラ・終助詞が後続するとき	母音延長が生じる	野方方言, 加津佐方言 etc.	柳川方言 (1 μ 接語に限定), 尾前方言 (1 μ 接語に限定)
	母音延長が生じない		標準語

接語の種類が（多分）影響していない方言： 長崎県宇久島野方方言



中村（2019: 29）

1モーラの名詞語根が単独で語として実現するとき，母音が延長される。

koo=no

子=が

「子が」

(p. 218)

tjaa=dom

茶=など

「茶など」

(p. 48)

koo=tai

子=よ

「子だよ」

(p. 81)

後続する接語の種類が影響している方言



		格助詞・取り立て助詞が後続するとき	
		母音延長が生じる	母音延長が生じない
コピュラ・終助詞が後続するとき	母音延長が生じる	野方方言, 加津佐方言 etc.	柳川方言 (1μ接語に限定), 尾前方言 (1μ接語に限定)
	母音延長が生じない		標準語

後続する接語の種類が影響している方言



		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○

論理的には可能だが、 報告されていないパターン

		格助詞・取り立て助詞が後続するとき	
		母音延長が生じる	母音延長が生じない
コピュラ・終助詞が 後続するとき	母音延長が 生じる	野方方言, 加津佐方言 etc.	柳川方言 (1 μ 接語に限定), 尾前方言 (1 μ 接語に限定)
	母音延長が 生じない		標準語

論理的には可能だが、 報告されていないパターン

		格助詞・取り立て助詞が後続するとき	
		母音延長が生じる	母音延長が生じない
コピュラ・終助詞が 後続するとき	母音延長が 生じる	野方方言, 加津佐方言 etc.	柳川方言 (1 μ 接語に限定), 尾前方言 (1 μ 接語に限定)
	母音延長が 生じない		標準語

母音延長が生じる環境の階層性

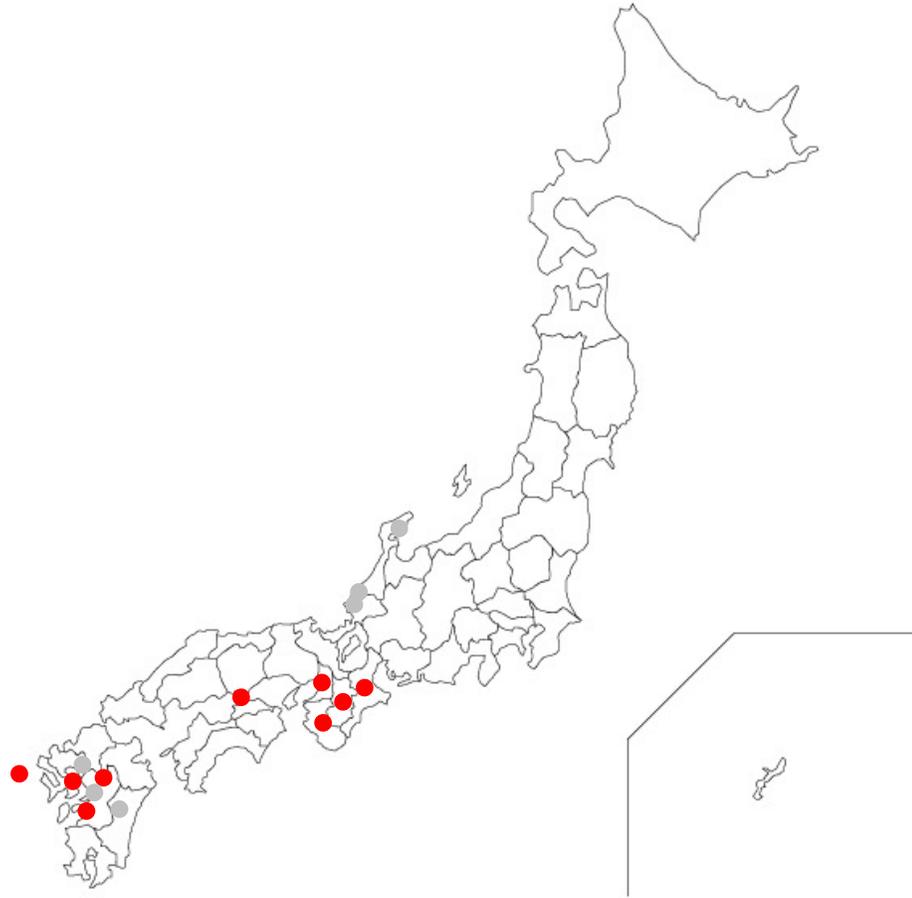
コピュラ・終助詞 > 格助詞・取り立て助詞

後続する接語のモーラ数

後続する接語のモーラ数と母音延長

		1 μ 接語が後続するとき	
		母音延長が生じる	母音延長が生じない
2 μ 接語が 後続するとき	母音延長が 生じる	野方方言 etc., 柳川方言 (終助詞), 尾前方言 (コピュラ・終助詞)	旧能都町方言 etc., 柳川方言 (格・取り立て), 尾前方言 (取り立て)
	母音延長が 生じない		尾前方言 (格), 標準語

後続する接語のモーラ数に言及がない方言 →影響がないと仮定



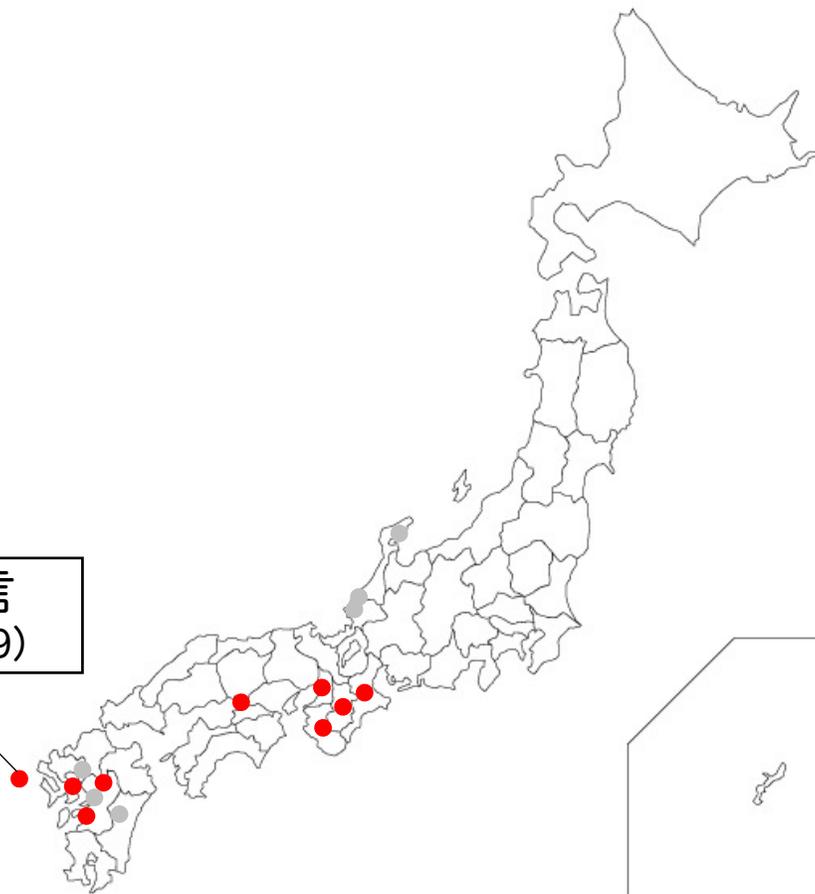
		1μ接語が後続するとき	
		母音延長が生じる	母音延長が生じない
2μ接語が後続するとき	母音延長が生じる	野方方言 etc., 柳川方言 (終助詞), 尾前方言 (コビュラ・終助詞)	旧能都町方言 etc., 柳川方言 (格・取り立て), 尾前方言 (取り立て)
	母音延長が生じない		尾前方言 (格), 標準語

		1μ接語が後続するとき	
		母音延長が生じる	母音延長が生じない
2μ接語が後続するとき	母音延長が生じる	野方方言 etc., 柳川方言 (終助詞), 尾前方言 (コビュラ・終助詞)	旧能都町方言 etc., 柳川方言 (格・取り立て), 尾前方言 (取り立て)
	母音延長が生じない		尾前方言 (格), 標準語

中村 (2019: 29)

1モーラの名詞語根が単独で語として実現するとき、母音が延長される。

野方方言
(中村 2019)



koo=no

子=が

「子が」

(p. 218)

tjaa=dom

茶=など

「茶など」

(p. 48)

koo=tai

子=よ

「子だよ」

(p. 81)

2モーラ接語が後続するときに母音延長が生じる（っぽい）方言



		1μ接語が後続するとき	
		母音延長が生じる	母音延長が生じない
2μ接語が後続するとき	母音延長が生じる	野方方言 etc., 柳川方言 (終助詞), 尾前方言 (コピュラ・終助詞)	旧能都町方言 etc., 柳川方言 (格・取り立て), 尾前方言 (取り立て)
	母音延長が生じない		尾前方言 (格), 標準語

		1μ接語が後続するとき	
		母音延長が生じる	母音延長が生じない
2μ接語が後続するとき	母音延長が生じる	野方方言 etc., 柳川方言 (終助詞), 尾前方言 (コビユラ・終助詞)	旧能都町方言 etc., 柳川方言 (格・取り立て), 尾前方言 (取り立て)
	母音延長が生じない		尾前方言 (格), 標準語

鎌田 (2020: 111)

- ・ 1μ名詞は長音化しないと発音できない
- ・ ただし, 1μ助詞が後続する場合は長音化する必要はない

kaa

蚊
「蚊」

ka=ga

蚊=が
「蚊が」

kaa=kara

蚊=から
「蚊から」

旧能都町方言
(鎌田 2020)

浜坂方言
(松倉 2022)

北潟方言
(松倉 2022)

熊本市方言
(湯川 2004)

		1μ接語が後続するとき	
		母音延長が生じる	母音延長が生じない
2μ接語が後続するとき	母音延長が生じる	野方言 etc., 柳川方言 (終助詞), 尾前方言 (コピュラ・終助詞)	旧能都町方言 etc., 柳川方言 (格・取り立て), 尾前方言 (取り立て)
	母音延長が生じない		尾前方言 (格), 標準語



		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○

後続する接語のモーラ数と母音延長

		1 μ 接語が後続するとき	
		母音延長が生じる	母音延長が生じない
2 μ 接語が 後続するとき	母音延長が 生じる	野方方言 etc., 柳川方言 (終助詞), 尾前方言 (コピュラ・終助詞)	旧能都町方言 etc., 柳川方言 (格・取り立て), 尾前方言 (取り立て)
	母音延長が 生じない		尾前方言 (格), 標準語

論理的には可能だが、 報告されていないパターン

		1 μ 接語が後続するとき	
		母音延長が生じる	母音延長が生じない
2 μ 接語が 後続するとき	母音延長が 生じる	野方方言, 柳川方言 (終助詞), 尾前方言 (コピュラ・終助詞)	旧能都町方言, 柳川方言 (格・取り立て), 尾前方言 (取り立て)
	母音延長が 生じない		尾前方言 (格), 標準語

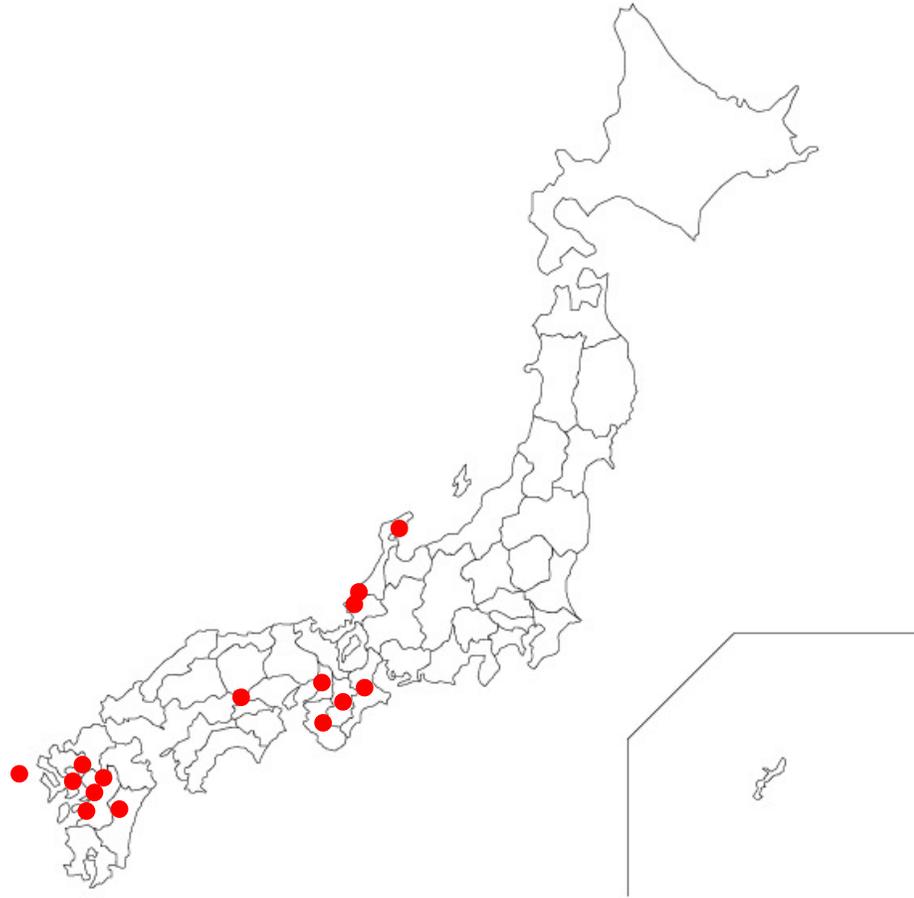
母音延長が生じる環境の階層性

		1μ接語が後続するとき	
		母音延長が生じる	母音延長が生じない
2μ接語が 後続するとき	母音延長が 生じる	野方方言, 柳川方言 (終助詞), 尾前方言 (コピュラ・終助詞)	旧能都町方言, 柳川方言 (格・取り立て), 尾前方言 (取り立て)
	母音延長が 生じない		尾前方言 (格), 標準語

母音延長が生じる環境の階層性

2μ接語 > 1μ接語

母音延長が生じる環境を 階層の形で一般化できる可能性



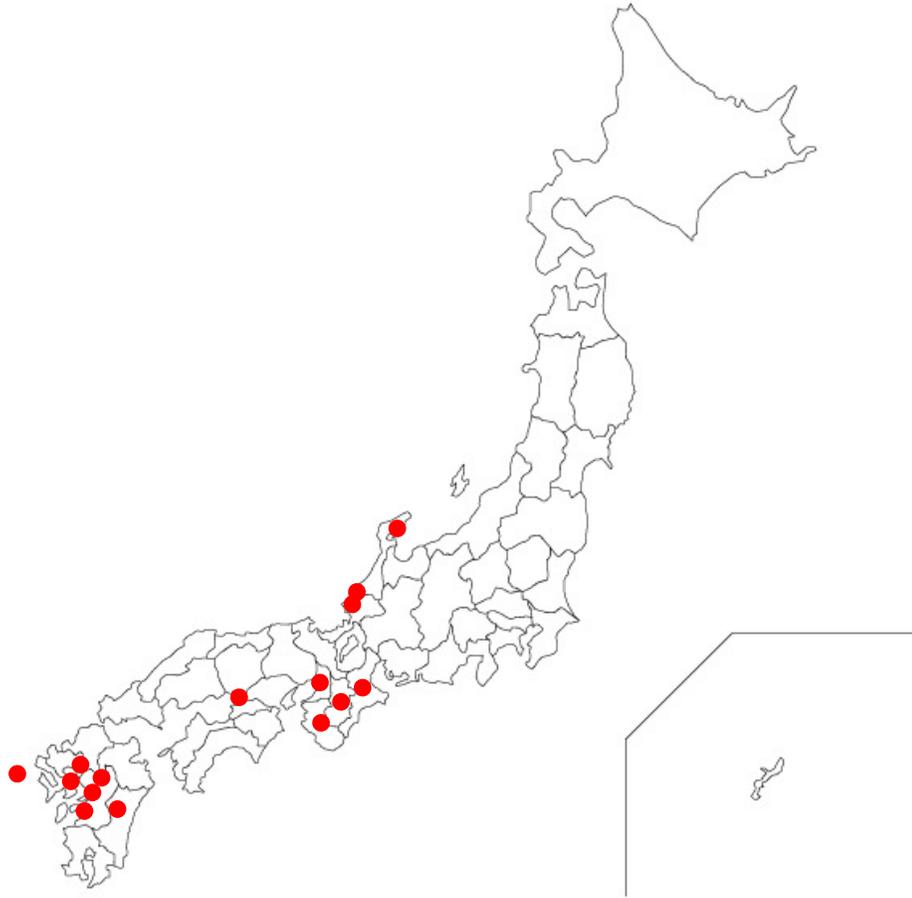
後続する要素の種類

コピュラ・終助詞 > 格・取り立て

後続する要素のモーラ数

2モーラ以上 > 1モーラ

ただし、この階層性の提案は、 先行研究の記述に抜け・漏れがないと仮定



後続する要素の種類

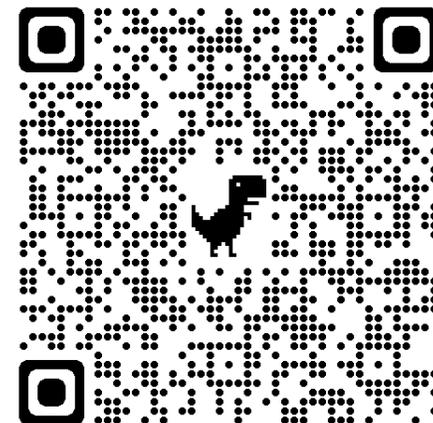
コピュラ・終助詞 > 格・取り立て

後続する要素のモーラ数

2モーラ以上 > 1モーラ

2要因をカバーした調査表 (Matsuoka2022)

例文番号	後続する要素	後続する要素の種類	後続する要素のモーラ数	修飾要素の有無	1モーラ語	ターゲットセンテンス (標準語)	作成者注
1 o	格助詞		1 x		me	目が痛い	
2 o	格助詞		1 o		me	右の目が痛い	
3 o	格助詞		1 x		me	目に良い	
4 o	格助詞		1 o		me	右の目に良い	
5 o	格助詞		1 x		me	目で見	
6 o	格助詞		1 o		me	右の目で見	
7 o	格助詞		2 x		me	目から涙が出る	
8 o	格助詞		2 o		me	右の目から涙が出る	
9 o	取り立て助詞		1 x		me	目は良い	
10 o	取り立て助詞		1 o		me	右の目は良い	
11 o	取り立て助詞		1 x		me	目も良い	
12 o	取り立て助詞		1 o		me	右の目も良い	
13 o	取り立て助詞		2 x		me	目でもなんでも, 検査したほうが良い	
14 o	取り立て助詞		2 o		me	右の目でも左の目でも, 検査したほうが良い	
15 o	取り立て助詞		2 x		me	目など検査してもらおうか	
16 o	取り立て助詞		2 o		me	右の目など検査してもらおうか	
17 o	コピュラ		1 x		me	痛いのは目だ	コピュラの非:
18 o	コピュラ		1 o		me	痛いのは右の目だ	同上
19 o	コピュラ		3 x		me	痛いのは目だった	可能であれば:
20 o	コピュラ		3 o		me	痛いのは右の目だった	同上
21 o	終助詞		1 x		me	痛いのは目よ	
22 o	終助詞		1 o		me	痛いのは右の目よ	
23 o	終助詞		2 x		me	痛いのは目よね	標準語で単一



4. おわりに

要因 1. 後続する接語の種類の影響

- (1) $\{*me/mee\}$ utta. (2) $\{*me/mee\}=yatta.$ (3) $\{me/*mee\}=ni$
 目 目 目=だった 目=に
 「目（を）打った」 「目だった」 「目に（よい）」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1 μ	○	×	○	×
	2 μ	×	○	○	×
取り立て	1 μ	○	×	○	×
	2 μ	×	○	○	○
コピュラ	1 μ	/	/	○	○
	3 μ	×	○	○	○
終助詞	1 μ	×	○	○	○
	2 μ	×	○	○	○

1 μ の格助詞・取り立て助詞が
 後続するとき、
 母音延長は生じない

要因 1. 後続する接語の種類の影響

- (1) {*me/mee} utta. (2) {*me/mee}=yatta. (3) {me/*mee}=ni
 目 打った 目=だった 目=に
 「目（を）打った」 「目だった」 「目に（よい）」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○

コピュラ，終助詞が
 後続するとき，
 母音延長が生じる

要因 2. 後続する接語のモーラ数の影響

(4) {**me**/***mee**}=ni yoka. (5) {***me**/mee}=kara

目=に

よい

目=から

「目によい」

「目から（涙が出る）」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○

要因 2. 後続する接語のモーラ数の影響

(4) {me/*mee}=ni yoka. (5) {*me/mee}=kara

目=に

よい

目=から

「目によい」

「目から（涙が出る）」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○

2μの格助詞・取り立て助詞が
後続するとき、
母音延長が生じる

要因 1. 後続する接語の種類の影響

- (5) $\{*me/mee\}$ utta. (6) $\{me/mee\}=zyatta.$ (7) $\{me/*mee\}=ni$
 目 打った 目=だった 目=に
 「目（を）打った」 「目だった」 「目によい」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1 μ	○	×	○	×
	2 μ	×	○	○	×
取り立て	1 μ	○	×	○	×
	2 μ	×	○	○	○
コピュラ	1 μ	/	/	○	○
	3 μ	×	○	○	○
終助詞	1 μ	×	○	○	○
	2 μ	×	○	○	○

格助詞・1 μ の取り立て助詞が
 後続するとき、
 母音延長は生じない

要因 1. 後続する接語の種類の影響

- (5) $\{*me/mee\}$ utta. (6) $\{me/mee\}=zyatta.$ (7) $\{me/*mee\}=ni$
 目 打った 目=だった 目=に
 「目（を）打った」 「目だった」 「目によい」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○

コピュラ，終助詞が
 後続するとき，
 母音延長が生じる

要因 2. 後続する接語のモーラ数の影響

(7) {**me**/***mee**}=mo yee.

目=も

よい

「目もよい」

(8) {me/mee}=domo

目=など

「目など打ったら（大変だ）」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○

要因 2. 後続する接語のモーラ数の影響

(7) {me/*mee}=mo yee.

目=も

「目もよい」

よい

(8) {**me/mee**}=domo

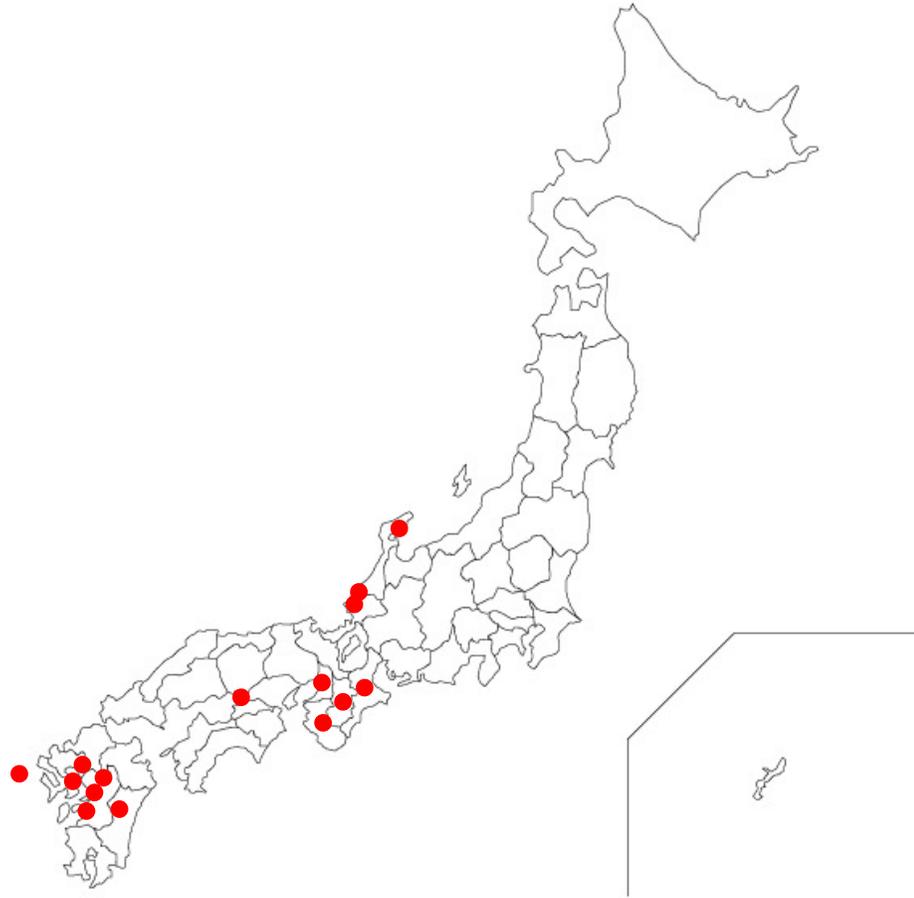
目=など

「目など打ったら（大変だ）」

		柳川		尾前	
		短	長	短	長
格	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	×
取り立て	1μ	○	×	○	×
	2μ	×	○	○	○
コピュラ	1μ	/	/	○	○
	3μ	×	○	○	○
終助詞	1μ	×	○	○	○
	2μ	×	○	○	○

2μ取り立て助詞が
後続するとき、
母音延長が生じうる

母音延長が生じる環境を 階層の形で一般化できる可能性



後続する要素の種類

コピュラ・終助詞 > 格・取り立て

後続する要素のモーラ数

2モーラ以上 > 1モーラ

2要因をカバーした調査表



例文番号	後続する要素	後続する要素の種類	後続する要素のモーラ数	修飾要素の有無	1モーラ語	ターゲットセンテンス（標準語）	作成者注
1 o	格助詞		1 x		me	目が痛い	
2 o	格助詞		1 o		me	右の目が痛い	
3 o	格助詞		1 x		me	目に良い	
4 o	格助詞		1 o		me	右の目に良い	
5 o	格助詞		1 x		me	目で見える	
6 o	格助詞		1 o		me	右の目で見える	
7 o	格助詞		2 x		me	目から涙が出る	
8 o	格助詞		2 o		me	右の目から涙が出る	
9 o	取り立て助詞		1 x		me	目は良い	
10 o	取り立て助詞		1 o		me	右の目は良い	
11 o	取り立て助詞		1 x		me	目も良い	
12 o	取り立て助詞		1 o		me	右の目も良い	
13 o	取り立て助詞		2 x		me	目でもなんでも、検査したほうが良い	
14 o	取り立て助詞		2 o		me	右の目でも左の目でも、検査したほうが良い	
15 o	取り立て助詞		2 x		me	目など検査してもらおうか	
16 o	取り立て助詞		2 o		me	右の目など検査してもらおうか	
17 o	コピュラ		1 x		me	痛いのは目だ	コピュラの非:
18 o	コピュラ		1 o		me	痛いのは右の目だ	同上
19 o	コピュラ		3 x		me	痛いのは目だった	可能であれば:
20 o	コピュラ		3 o		me	痛いのは右の目だった	同上
21 o	終助詞		1 x		me	痛いのは目よ	
22 o	終助詞		1 o		me	痛いのは右の目よ	
23 o	終助詞		2 x		me	痛いのは目よね	標準語で単一

参照文献

- 古田万紀子・小川晋史 (2016) 「韻律論の中間報告」 下地理則・小川晋史・新永悠人・平塚雄亮・坂井美日 (編) 『尾前調査班中間報告書宮崎県椎葉村尾前方言簡易語彙集と文法概説』 8-33. 東京：国立国語研究所.
- 鎌田寧々 (2020) 「石川県旧能都町地域の名詞のアクセント」 『東京大学言語学論集』 42: 105-116.
- 上村孝二 (1983) 「九州方言の概説」 飯豊毅一・日野資純・佐藤亮一 (編) 『九州地方の方言』 1-28. 東京：国書刊行会.
- 木部暢子 (2000) 『西南部九州二型アクセントの研究』 東京：勉誠出版.
- 松倉昂平 (2022) 『福井県嶺北方言のアクセント研究』 東京：武蔵野出版.
- 松岡葵 (2021) 「福岡県柳川市方言の文法概説」 修士論文, 九州大学.
- Matsuoka, Aoi. (2022). 日琉諸方言における最小語制約の調査票(2022年9月9日版). Zenodo.
<https://doi.org/10.5281/zenodo.7064688>
- 中村京介 (2019) 「長崎県宇久島野方方言の文法概説」 修士論文, 東京外国語大学.
- 岡野信子(1983) 「福岡県の方言」 飯豊毅一・日野資純・佐藤亮一 (編) 『九州地方の方言』 57-86. 東京: 国書刊行会.
- 下地理則(2016) 「音素論と形態音韻論の中間報告」 下地理則・小川晋史・新永悠人・平塚雄亮・坂井美日 (編) 『尾前調査班中間報告書宮崎県椎葉村尾前方言簡易語彙集と文法概説』 7-14. 東京：国立国語研究所.
- 湯川恭敏 (2004) 『熊本市方言調査報告』 熊本：熊本大学社会文化科学研究科言語学研究室 .